

Mate N

スーパースリムタワー型

(Turbolinux 7 workstationインストールモデル)

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

また、本書では、Turbolinux 7 workstationを、以降Linuxと略します。

なお、本書に記載のイラストは、実際の装置と多少異なります。

操作の流れ

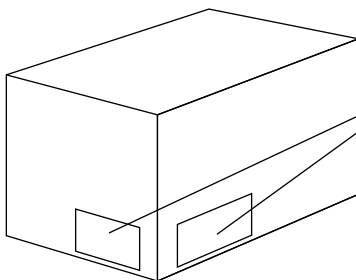
- 1 添付品の確認 2
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
- 2 設置場所の決定 6
設置する場所を決めます。
- 3 添付品の接続 8
使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
- 4 Linuxのセットアップ 15
はじめて電源を入れるときには、Linuxをセットアップします。
- 5 お客様登録 19
お客様の登録をします。
- 6 マニュアルの使用方法 20
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
- 7 使用する環境の設定と上手な使い方 22
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

1

添付品の確認

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



ステッカー
(ステッカーは梱包箱側面
2カ所に同じ物が貼りつけ
られています)

型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を次の枠に控えます。控え終わったら、P.4「添付品を確認する」へ進んでください。

A diagram of a Smart Selection label. It features a barcode at the top, followed by several lines of placeholder text (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX). Below this is a box containing the text '型番: PC-MAXXXXXXXXXX'. At the bottom right of the label is a small box with the text 'XXXX'.

スマートセレクション型番

PC-MA12HN ^① D ^② ^③ ^④ A

□の意味は次の通りです。

① ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

✓	型 番	ディスプレイの種類
	J	F17R11
	M	F15T52
	S	F15R52
	W	DV15A5
	Z	なし

② FDDのあるなし、CD-ROMのあるなし、または、キーボードの種類を表しています。

CD-ROMが「なし」の場合はCDレスモデルになります。

✓	型番	FDD	CD-ROM	キーボードの種類
	1	FDD	なし	PS/2 109キーボード
	2	なし	CD-ROM	
	3	FDD	なし	テンキー付小型PS/2キーボード (縦置き収納型)
	4	なし		PS/2 109キーボード
	A	FDD	CD-ROM	テンキー付小型PS/2キーボード (縦置き収納型)
	R	なし	なし	
	T	FDD	CD-ROM	PS/2 109キーボード
	X	なし		テンキー付小型PS/2キーボード (縦置き収納型)

③ 合計メモリの容量、通信機能を表しています。

✓	型 番	合計メモリの容量	通信機能
	5	512MB	LAN
	D	128MB	
	E	256MB	

④ ハードディスクの容量を表しています。

✓	型 番	ハードディスクの容量
	1	20GB
	2	60GB

上記の①～④のすべての組み合わせが実現できていたわけではありません。

次のページの「添付品を確認する」へ進んでください。

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合があります。

① 箱の中身を確認する

P.3の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

☐ 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

☐ はじめにお読みください(このマニュアルです)

☐ 本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate Nを指します)

☐ 添付品収納箱

☐ キーボード

☐ マウス

② 添付品収納箱の中身を確認する

☐ は、各々1つにパックされています。

☐ アース線

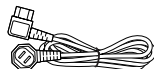


☐ ケーブルストッパ

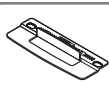


☐ ネジ(1個)

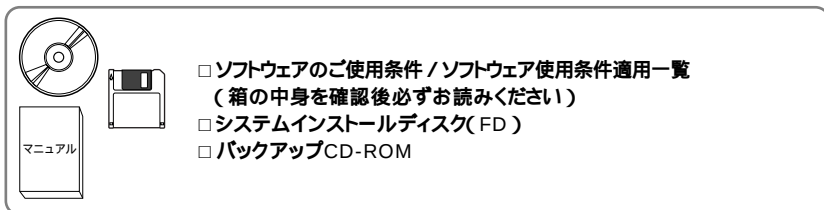
☐ サービスコンセント付き電源ケーブル



☐ スタビライザ(2個)



- ☐ ATOK Xユーザー登録用紙
- ☐ お客様登録申込書
- ☐ 安全にお使いいただくために
- ☐ NEC PCあんしんサポートガイド
- ☐ 活用ガイド 再セットアップ編



③ ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

(P.3①でディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④ 本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

以上で添付品の確認は完了です。

次のページの「**2** 設置場所の決定」へ進んでください。

2

設置場所の決定

設置場所を決める



安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。



感電注意

- 電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



発火注意

- 電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



けが注意

- ケーブル類は、つまづかないように整理してください。

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ～35

湿度20%～80%

(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない

(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだ Mate N を指します)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く
直射日光が当たる場所
暖房機の近く
薬品や液体の近く
腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所
テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
人通りが多くてぶつかる可能性がある場所
ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所
ホコリが多い場所(床下など)
本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所
ディスプレイの通風孔がふさがる場所
テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶついたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱いってください。

以上で設置場所の決定は完了です。

次のページの「**3** 添付品の接続」へ進んでください。

3

添付品の接続

接続するときの注意

- ・ 添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない
故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. 設置

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず①か②のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。P.9f 2. マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

① スタビライザを2つ取り付ける場合

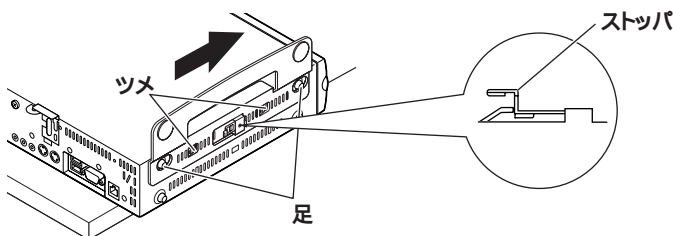
机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

片方のスタビライザを本体のツメと足を合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる



- ・ スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶついたり、切ったりしないように注意してください。

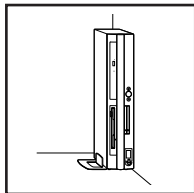
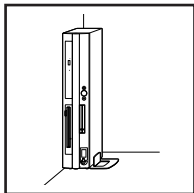


もう一方のスタビライザも 同じ方法で取り付ける

②スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁などと反対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

P.8「①スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、1つのみ取り付ける



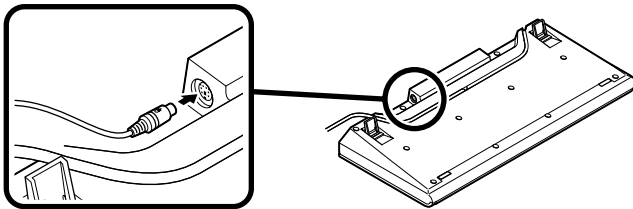
- 1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

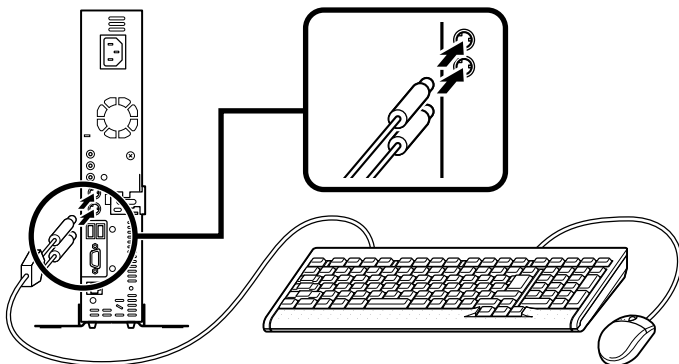
お使いのキーボードにより①または②のいずれかで接続してください。

①テンキー付きPS/2 小型キーボード(縦置き収納型)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



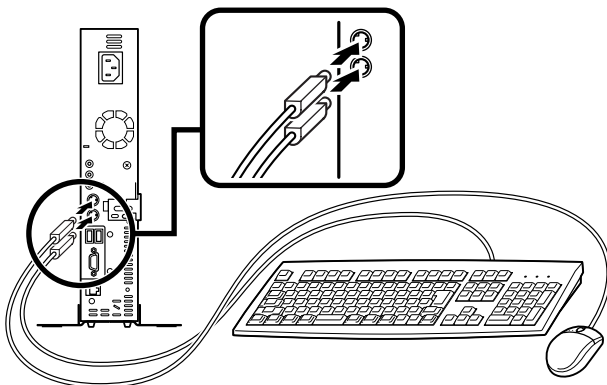
キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド ハードウェア編』周辺機器を利用する」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

② PS/2 109キーボードを接続する場合

添付のマウス(緑) キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



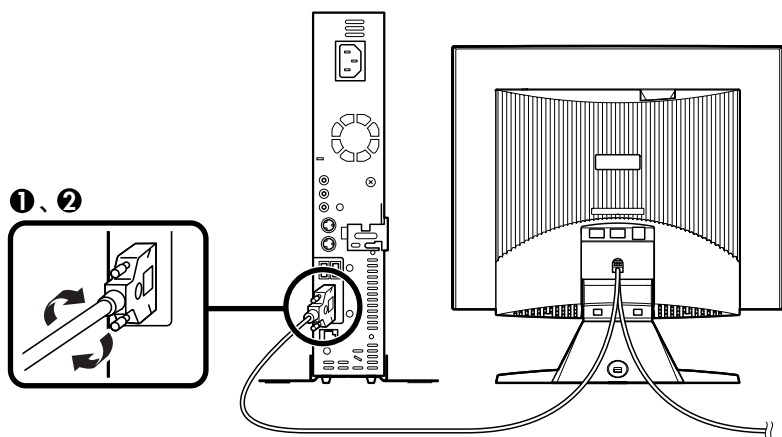
ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド ハードウェア編』周辺機器を利用する」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

ここではディスプレイ(F17R11)がセットになった場合を例に説明します。
次の手順で接続してください。

- ① ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン()とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する
- ② ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする



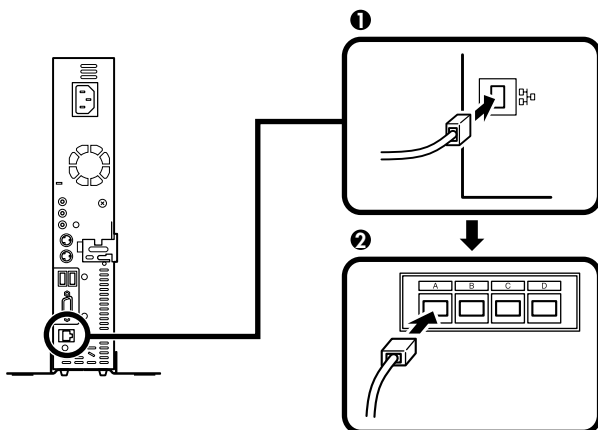
4. リンクケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

- ① リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン()に従って接続する
- ② マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



5. アース線、電源ケーブルを接続する

⚠ 安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電器店などにご相談ください。



発火注意

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



感電注意

- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

本機に添付のサービスコンセント付き電源ケーブルをご使用になる前に、次の注意事項をよく読んでから接続してください。



- サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は接続しないでください。サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。消費電力の大きな機器などを接続すると、火災の原因となります。



- サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ足配線をしてしないでください。

次のページのイラストを見て①～③の順番に接続してください。

① アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止める

コンセントのアース端子にアース線を接続する

② ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源ケーブルに差し込む

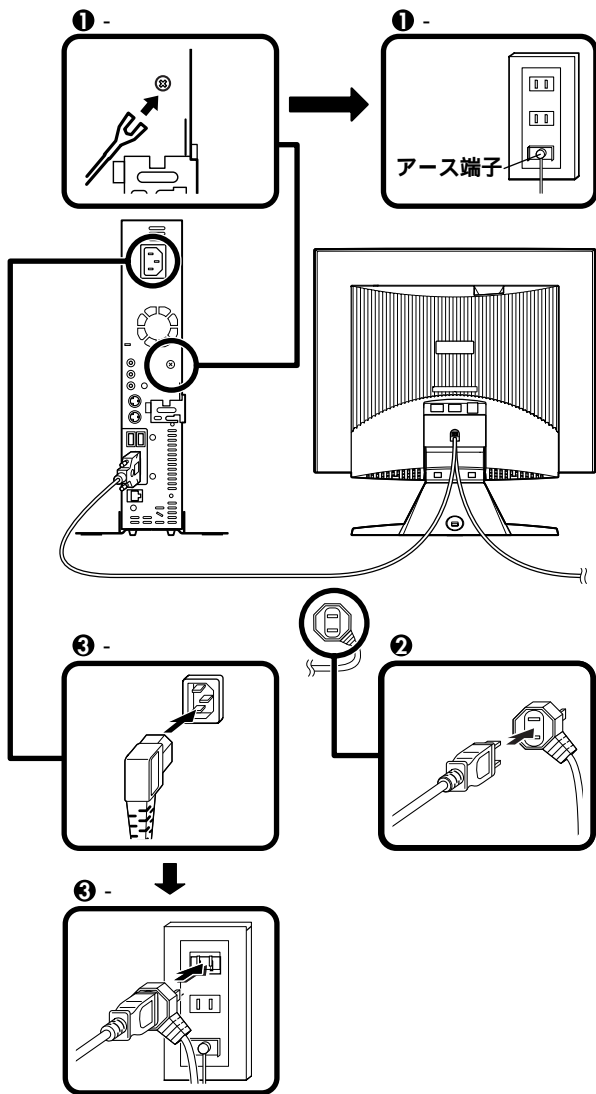
次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17R11)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

③ 本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「**4** Linuxのセットアップ」へ進んでください。

4 Linuxのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Linuxセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

- ・メモリなど、周辺機器は接続しない

この作業が終わるまでは、増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「4 Linuxのセットアップ」から「7 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- ・途中で電源を切らない

作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.18「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

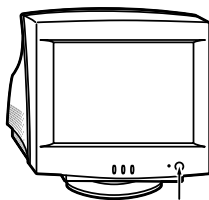
電源を入れる

必ず①、②の順番に従って、正しく電源を入れてください。

① ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

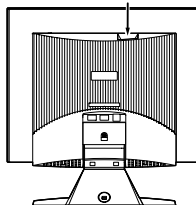
- CRTディスプレイ(DV15A5)の場合



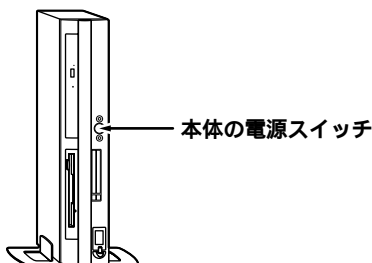
ディスプレイの電源スイッチ

- アナログ液晶ディスプレイ(F17R11)の場合

ディスプレイの電源スイッチ



② 本体の電源を入れる



セットアップの作業手順

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。

セットアップ作業すべての操作はキーボードで行います。画面のキー操作は次の通りです。

項目間のカーソルの移動	【Tab】または【Alt】+【Tab】
項目内のカーソルの移動	【↑】または【↓】
チェックボックスの選択	【Space】
選択項目の決定	【Enter】

❶ 電源ランプが点灯して、「Linuxのセットアップを行います」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

ユーザ、およびグループの設定をします。

❷ 「オプション」の画面が表示されたら、「ユーザー」を選択して【Enter】を押す

❸ 「ユーザー選択」の画面が表示されたら、「root」が選択されている状態で「設定」を選択して【Enter】を押す

❹ 「ユーザーオプション」の画面が表示されたら、「パスワード」を選択して【Enter】を押す

❺ 「新しいパスワードの入力」の画面が表示されたら、パスワードを入力し、「OK」を選択して【Enter】を押す

rootはインストールしたTurbolinux 7 workstation上で絶対の権限をもつアカウントです。

パスワードは6文字以上で、英数文字と記号などを組み合わせて設定してください。アルファベットの大文字と小文字は別の文字として区別されます。入力した文字は、パスワードを盗み取られる危険を防ぐため、画面上には表示されません。

なお、パスワードは工場出荷時に「root」に設定されています。

⑥「ユーザーオプション」の画面が表示されたら、「OK」を選択して【Enter】を押す

⑦「UID Error」の画面が表示されたら、「OK」を選択して【Enter】を押す

⑧「ユーザーオプション」の画面が表示されたら、「取り消し」を選択して【Enter】を押す

⑨「ユーザー選択」の画面が表示されたら、「終了」を選択して【Enter】を押す

⑩「オプション」の画面が表示されたら、必要に応じてユーザーの追加、またはグループの追加を行う

rootアカウントだけでもシステムの運用はできますが、誤ってシステムファイルの削除などをしてしまうと復旧不可能な状態にもなりかねない危険性があります。別に一般ユーザーのアカウントを作成し、通常はこちらでログインすることをおすすめします。

⑪ユーザ、グループの設定が完了したら、「オプション」の画面で「終了」を選択して【Enter】を押す

次にコンピュータのネットワーク環境を設定します。

⑫「ネットワーク設定」の画面が表示されたら、ネットワークの設定を行う

設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

次にモニターの設定を行います。

⑬「turboxcfgへようこそ」の画面が表示されたら、「設定の変更」を選択して【Enter】を押す

⑭「Xの設定」の画面が表示されたら、「モニターの設定」を選択して【Enter】を押す

⑮「モニターの設定」の画面が表示されたら、「OK」を選択して【Enter】を押す

⑯「Xの設定」の画面が表示されたら、「保存して終了」を選択して【Enter】を押す

⑰「完了」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

⑱「GNOMEデスクトップ・マネージャ」の画面が表示されたら、「root」と入力し、【Enter】を押す

⑲ P.16 ⑤ で設定したパスワードを入力し、【Enter】を押す

Linuxのセットアップが終了したら、「電源を切る」の順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

①「K メニュー」をクリックし、「ログアウト」をクリック

②「KDEセッションを終了しますか？」の画面が表示されたら、「ログアウト」をクリック

③「GNOMEデスクトップ・マネージャ」の画面が表示されたら、「システム」をクリックし「停止」をクリック

④「本当にシステムを停止しますか？」の画面が表示されたら、「はい」をクリック

以上でLinuxのセットアップは完了です。

P.19「 5 お客様登録」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- ・ 電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む
電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

- ・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする
 - ①「Press【Esc】for text mode」と表示されたら、【Esc】を押す
「GNOMEデスクトップ・マネージャ」の画面が表示された場合は、「システム」から「再起動...」を選択し、「Press【Esc】for text mode」と表示されるか確認してください。
「Press【Esc】for text mode」と表示されない、またはエラーメッセージが表示されてシステムが起動しない場合には、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合Linuxは起動しません。Linuxを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。再セットアップについては『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。
 - ②テキスト画面が表示されたら、「linux 4」と入力し【Enter】を押す
 - ③「オプション」の画面が表示されたら、P.16の「セットアップの作業手順」に従ってセットアップを行う

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- ・ パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

5 お客様登録

登録には、3種類の方法があります（登録料、年会費は無料です）。

- ・ インターネットによる登録
添付の『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
- ・ 専用ハガキによる登録
添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。
- ・ FAX用紙による登録
添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。

次のページの「6 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

6

マニュアルの使用方法

本機に添付または「バックアップCD-ROM(2枚目)」に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&Aの「その他」の「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「電子マニュアル」として「バックアップCD-ROM(2枚目)」に入っています。「電子マニュアル」の使用方法については、P.21「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

- 『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

- 『活用ガイド 再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

- 『活用ガイド ハードウェア編』(Turbolinux 7 workstationインストールモデル)

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

- 『活用ガイド ソフトウェア編』(Turbolinux 7 workstationインストールモデル)

他のOSをセットアップするときや、トラブルが起きたときにお読みください。

- ディスプレイのユーザーズマニュアル

- ・液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「**1** 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。

- Turbolinux 7 workstationのマニュアル

Linuxの操作や設定、アプリケーション導入などの情報について、下記のマニュアルが「pdf」フォルダに添付されています。

- ・『Turbolinux 7 workstation ユーザーガイド』(tlw7_u_1.pdf)
- ・『Turbolinux 7 workstation Linuxベーシックガイド』(tlw7_b_1.pdf)
- ・『Turbolinux 7 workstation コマンドガイド』(tlw7_c_1.pdf)
- ・『Turbolinux 7 workstation Frequently Asked Question』(tlw7_faq.pdf)

- ATOK X for Linuxのマニュアル

下記のマニュアルが添付されています。

『ATOK Xの紹介』(atokx.pdf)

- 「NEC PCあんしんサポートガイド」

パソコンのハードウェアに関する相談窓口や故障時のサービス網の紹介について知りたいときにお読みください。

なお、Linuxについての情報は、次のWebサイトをご覧ください。

<http://121ware.com/business/linux/>

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

CDレスモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュータのCD-ROMドライブをマウントしてください。

① CD-ROMドライブに、本機に添付の「バックアップCD-ROM (2枚目)」をセットする

② デスクトップ上のCD-ROMドライブのアイコンをクリック

③ 「_manual」フォルダをクリックし、「index.htm」ファイルをクリックする

「Mate N電子マニュアル」が表示されます。



- 必要に応じて「_manual」ディレクトリをハードディスクのホームディレクトリにコピーしてご利用ください。
「_manual」ディレクトリをハードディスクのホームディレクトリにコピーしてご利用の際、ディレクトリ名・ファイル名などは変更しないでください。
- Linuxが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくとう便利です。
- 印刷環境やブラウザ(Konqueror)によっては、一部の内容が正しく印刷できないことがあります。そのようなときは、お使いの設定を確認してください。また、インストールされている他のブラウザ(Netscape Navigator)で印刷すると解決できる場合があります。

以上でマニュアルの使用方法は完了です。

次のページの「7 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

7

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

1. ディスプレイの設定

解像度と表示色の変更

本機はディスプレイの解像度(デスクトップサイズ)と表示色(デスクトップカラー)を、以下の手順で変更することができます。

なお、お使いのディスプレイで表示可能な解像度、表示色については『活用ガイド ハードウェア編』本体の構成各部「ディスプレイ」表示能力」をご覧ください。

rootのアカウントでログインする

ターミナルを起動し、次のコマンドを入力して【Enter】を押す

```
# turboxcfg
```

「Xの設定」の画面が表示されたら、【↓】を使用して「ビデオカードの設定」を選択し【Enter】を押す

「検出不能」の画面が表示されたら「OK」が選択されている状態で【Enter】を押す

「X Window Systemの設定」の画面が表示されたら、【Tab】を使用して「オプション設定」を選択し【Enter】を押す

「オプション」の画面が表示されたら、【↓】または【↑】を使用してデスクトップカラーを選択し、【Tab】を押す

【↓】または【↑】を使用してデスクトップサイズを選択し、【Tab】を押す

「OK」が選択されている状態で【Enter】を押す

「X Window Systemの設定」の画面が表示されたら、【Tab】を使用して「OK」を選択し、【Enter】を押す

「Xの設定」の画面が表示されたら、【Tab】を使用して「保存して終了」を選択し、【Enter】を押す

「完了」の画面が表示されたら、「OK」が選択されている状態で【Enter】を押す

本機を再起動する

2. Securityの設定

スーパーバイザ/ユーザパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパーバイザ/ユーザパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』本体の構成各部の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。その他にも、USBポート経由やPCカード経由による情報漏洩を防止するために、USBポートやPCカードスロットを無効化する方法があります。以下の手順をご覧ください。なお、以下の設定はスーパーユーザで行う必要があります。rootのアカウントでログインして操作を行ってください。

①USBポートを無効化する

murasakiサービスがシステム起動時に実行されないようにします。

ターミナルを起動し、次のコマンドを入力して【Enter】を押す

```
# chkconfig --level 2345 murasaki off
```

(はスペースを入力してください。)

lilo.conf ファイルを編集し、append行を追加

```
[/etc/lilo.conf]
```

```
...
image=/boot/vmlinuz
label=linux
append="nousb"
read-only
...
```

ファイル編集後、liloコマンドを実行し、エラーが表示されないことをご確認ください。

BIOSセットアップメニューを次のように変更

「Main」

「Keyboard Features」

「Legacy USB Support」:「Disabled」

BIOSセットアップメニューについては『活用ガイド ハードウェア編』システム設定」をご覧ください。

②PCカードスロットを無効化する

pcmcia サービスがシステム起動時に実行されないようにします。

ターミナルを起動し、次のコマンドを入力して【Enter】を押す

```
# chkconfig - --level 2345 pcmcia off
```

(はスペースを入力してください。)

pcmcia ファイルを編集し、PCMCIAをnoにする

[/etc/sysconfig/pcmcia]

PCMCIA=no

...

電源を切る

編集が終了したら、P.18「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

3. Javaの設定

Java Applet

セキュリティ対策として、工場出荷時の状態ではNetscape Navigator、KonquerorでJava Appletを実行することはできません。

Java Appletの動作を有効にする場合は、下記サイトなどを参考にしてセキュリティ問題を十分検討した上で設定を行ってください。

<http://sunsolve.sun.com/pub-cgi/secBulletin.p>(英文サイト)

<http://home.netscape.com/security/>(英文サイト)

①Netscape Navigatorの設定方法

「Kメニュー」をクリックし、「インターネット」→「Netscape」をクリック

Netscape Navigator のメニューから「編集」をクリックし「設定(E)」をクリック

「Netscape:設定」ウィンドウが表示されたら、「カテゴリ」リスト内の「詳細」をクリック

「Javaを有効にする」をチェック

「Enable Java Plugin」をチェック

②Konquerorの設定方法

「Kメニュー」をクリックし、「設定」→「Webブラウザ」→「Konqueror ブラウザ」をクリック

「Java」のタブをクリックし、グローバル設定の「Javaを有効にする」をチェック

4. その他の添付アプリケーション

Sun Java Runtime Environment Version 1.3.1、Netscape Communicator 4.77、ATOK X for Linux、FontAvenue

本機には、Linux上で実用的な日本語環境を利用できるようにSun Java Runtime Environment Version 1.3.1(Java 実行環境)、Netscape Communicator 4.77(インターネット・クライアントソフト)、ATOK X for Linux(日本語変換ソフト)、FontAvenue(フォントパッケージ)がインストールされています。

詳しくは、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

5. セットアップについて

他のOSをセットアップする場合の注意事項

他のOSをセットアップする前に、ハードディスクの全てのパーティションを削除、およびマスタブートレコード(MBR)をクリアする必要があります。

《対象OS》

Windows® XP Professional、Windows® 2000 Professional/Server、
Windows® Millennium Edition、Windows NT® Workstation/Server 4.0、
Windows® 98 Second Edition

実行前に必要なデータは全てバックアップを行ってください。

ハードディスクの全てのパーティションを削除、およびマスタブートレコード(MBR)をクリアするため、Linux を起動

Linuxを起動できない場合は、Linux の再セットアップを行ってください。
Linux の再セットアップ方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

root のアカウントでログインし、以下のコマンドを入力して【Enter】を押す

```
# dd if=/dev/zero of=/dev/hda bs=512 count=1
```

(はスペースを入力してください。)

電源を切る

P.18「電源を切る」の手順に従い、電源を切ってください。

以降は、各OSに添付されているマニュアル、および『活用ガイド ソフトウェア編』
「他のOSを利用する」に従ってセットアップを行ってください。

❶ トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』『トラブル解決Q&A』の「トラブルを予防するには...」をご覧ください。

❷ 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』付録の「本機のお手入れ」をご覧ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているTurbolinux 7 workstationおよび本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) 本書に記載しているWebサイトは、2002年4月現在のもので、す。

Turbolinuxの名称及びロゴはTurbolinux, Inc. の登録商標です。

ターボリナックスはターボリナックス ジャパン株式会社の登録商標です。

LinuxはLinus Torvalds氏の米国および他の国における商標です。

Netscape、Netscape Navigator、Netscape ONE、Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Netscape Communicatorは、Netscape Communications Corporation 社の商標です。(一部の国では、登録商標となっています。)

「ATOK X for Linux」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK X for Linux」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

Sun Internet/Intranet Input Method Framework (IIIMF) は、著作権によって保護されており、かつ、米国Sun Microsystems, Inc. による使用許諾に基づいて使用されるものです。

Sun、Sun Microsystems、Sun Internet/Intranet Input Method Framework、IIIMFは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Javaおよびその他のJavaを含む商標は、米国Sun Microsystems, Inc. の商標であり、同社のJavaブランドの技術を使用した製品を指します。

Javascriptは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

TrueTypeは米国Apple Computer, Inc. の登録商標です。

FontAvenue、瑞筆、文結、クリアレーター、ばばるは、日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、MS、Windows、Windows NT、およびWindows、Windows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、Celeronは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2002年 5月

©NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社、NECカスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

853-810067-370-A
